

第125回リニアドライブ技術委員会議事録（案）

日時：平成23年7月15日(金) 13:30～17:00

場所：JR東海 品川ビル A棟

- 出席者：委員長 脇若 (信州大)
 副委員長 北野 (JR東海)
 委員 岩松 (鉄道総研), 大崎 (東京大), 岡本 (東海大), 中川 (東京都市大),
 花岡 (東洋電機製造), 増澤 (茨城大), 森下 (工学院大), 矢野 (産総研), 渡邊 (IEEJ)
 幹事 水野 (信州大)
 幹事補佐 矢島 (SMC) (記)

提出資料

- 125-1 第124回リニアドライブ技術委員会議事録（案）（矢島幹事補佐）
- 125-2 第103回（H23年度第1回）産業応用部門研究調査運営委員会メモ（脇若委員長）
- 125-3 平成23年度リニアドライブ技術委員会活動報告（脇若委員長）
- 125-4 H23年度LD技術委員会の抱負（脇若委員長）
- 125-5 平成24年電気学会全国大会概要（脇若委員長）
- 125-6 環境調和型磁気支持応用技術調査専門委員会解散報告書（案）（森下委員）
- 125-7 環境調和型磁気支持応用技術の体系化調査専門委員会設置趣意書（案）（森下委員）
- 125-8 交通・電気鉄道リニアドライブ合同研究会（北野副委員長）
- 125-9 回転機リニアドライブ家電・民生合同研究会（脇若委員長）
- 125-10 モータドライブ/リニアドライブ合同研究会（水野幹事）
- 125-11 マグネティックス・リニアドライブ合同研究会開催予定提案書（脇若委員長）
- 125-12 委員会構成委員変更届（渡邊委員）
- 125-13 医用アクチュエーション周辺技術の高度化に関する協同研究委員会(ECD)活動報告（岡本委員）
- 125-14 産業用リニアドライブ技術と応用の変遷調査専門委員会(MEL)活動報告（渡邊委員）
- 125-15 新世代アクチュエータの多自由度化可能性調査専門委員会(MDD)活動報告（矢野委員）
- 125-16 環境調和型磁気支持応用技術調査専門委員会(MLV)活動報告（森下委員）
- 125-17 第6回産業用リニアドライブ技術と応用の変遷調査専門委員会議事録（渡邊委員）
- 125-18 第13回新世代アクチュエータの多自由度化可能性調査専門委員会議事録（矢野委員）
- 125-19 第15回環境調和型磁気支持応用技術調査専門委員会議事録（森下委員）
- 125-20 第16回環境調和型磁気支持応用技術調査専門委員会議事録（森下委員）

議事

1. 議事録確認

資料125-1を基に、矢島幹事補佐から第124回委員会の議事録が確認され、誤字（資料番号4箇所）を修正の上、承認された。

2. 報告事項

- 2.1 資料125-2を基に、脇若委員長からD部門研究調査運営委の報告が行われた。
- 2.3 資料125-3を基に、脇若委員長から、本年度のLD技術委員会の活動予定が説明された。主な点は下記の通り。
 - ・8月に安川電機殿で工場見学を行うように進める
 - ・秋か冬に3月に出来なかったシンポジウムの内容を産業応用フォーラムで発表する
 - ・H24年2月の研究会は名古屋から金沢に変更する
- 2.4 資料125-4を基に、脇若委員長から、LD技術委員会の抱負について、以下の項目が説明された。
 - (1) 研究会の活発化
 - (2) 第8回LDIA
 - (3) シンポジウム
 - (4) 他学会、他部門との共催
- 2.5 資料125-8を基に、北野副委員長から7月21日に開催されるLD研究会が案内された。
- 2.6 資料125-9を基に、脇若委員長から、8月4日に開催されるLD研究会が案内された。今回、回転機だけでなく、家電・民生とも合同で行う。

- 2.7 資料 125-10 を基に、水野幹事から、12 月に開催を予定している LD 研究会が説明された。YAMAHA 殿の工場見学を行う予定。各調査専門委員会に研究会資料の投稿をお願いした。
- 2.8 資料 125-11 を基に、脇若委員長から、H24 年 2 月に開催を予定している LD 研究会が説明された。マグネティックスと合同で金沢で行う。2 月に名古屋で予定していた LD 技術委員会を名古屋でやるのは難しいという意見があった。
- 2.9 資料 125-12 を基に、渡邊委員から、MEL 委の委員変更について、報告があった。三菱電機：仲委員→小林委員、東洋電機製造：丸山委員→岸田委員、に変更。既に脇若委員長に承認され、事務局に提出済み。

3. 審議事項

- 3.1 資料 125-5 を基に、脇若委員長から平成 24 年電気学会全国大会（3 月、広島）開催概要が説明された。シンポジウムの発表を MDD 委で検討することになった。
- 3.2 資料 125-6 を基に、森下委員から MLV 委の解散報告書（案）が説明された。数箇所誤字の指摘があり、承認された。承認済みの原稿を脇若委員長に提出する。
- 3.3 資料 125-7 を基に、森下委員から次期 MLV 委の設置趣意書（案）が説明された。次期委員長は大橋先生（関西大）で、11 月に発足し、活動期間は 3 年を予定。環境性とは何か？など、文言の確認が行われた。設置趣意書（案）を修正し、公募原稿と共に脇若委員長に提出し、メール審議することとなった。
- 3.4 資料 125-13 を基に、岡本委員から、ECD 委の継続に関して臨時に開催した ECD 委員会で出された意見について報告された。電気学会関係の先生が多く行って活動するのがよい／人工心臓だけでなく医用アクチュエーションという切り口でやってもよかった／福祉分野の先生を取り込めないか／一旦やめて分野を変えて再開するほうがよい、などの意見が出され、討議された。本年度の設置は見送ることになった。ただし、今後も協力関係を持ち、情報交換を蜜に行っていく。また、11 月 24 日に研究会とフォーラム（三田村先生に特別講演していただく）を同日開催する。

4. 各調査専門委員会活動報告

資料 125-13～125-20 を用いて、各調査専門委員会から活動報告があった。

以上